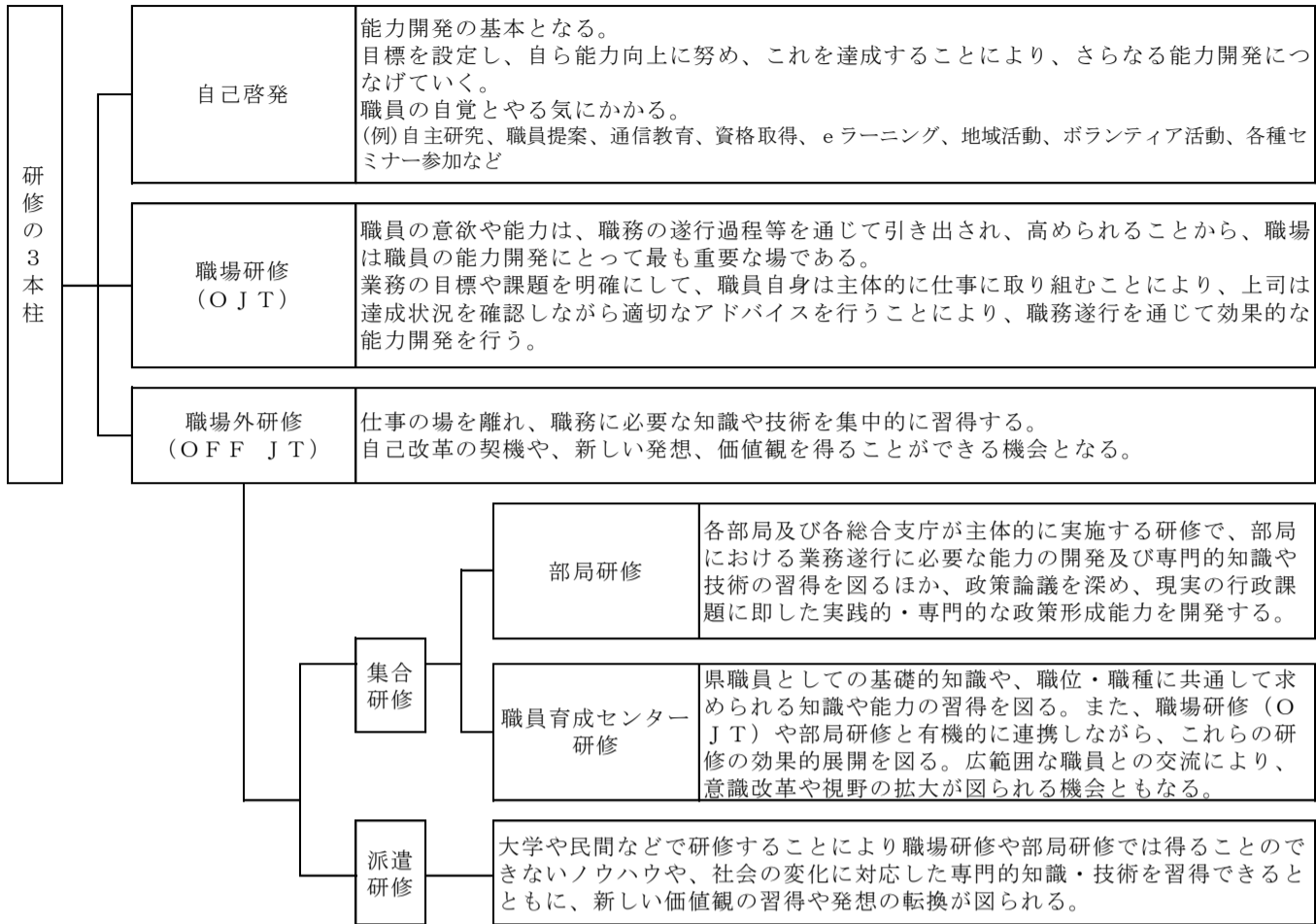


(9) 職員の研修の状況

イ 知事部局等（企業局、病院事業局、議会事務局及び各種行政委員会事務局を含む。）

(1) 研修体系



a 職員育成センター研修の体系

・基本研修（各階層ごとに行う必須の研修）

研修名	対象者	研修目的	
新規採用職員研修（一般職・第1期）・（看護職）	新規採用職員	県職員としての基本的な心構え・基礎的知識を身につける。（一般職・第1期）（看護職）	
新規採用職員研修（一般職・第2期）		自らの職務についての認識を深め、県職員の基本姿勢を習得する機会とする。（第2期）	
新規採用職員研修（一般職・第3期）		採用後半年間の実務経験を踏まえ、基礎的な業務遂行能力を高める。（第3期）	
主事・技師級2年目研修	新採研修受講後2年目の職員	入庁後1年間の実務経験を踏まえ、業務遂行能力を高める。	
主事・技師級6年目研修	主事・技師級で採用6年目の職員	業務遂行能力及び意欲的に仕事を進めるためのコミュニケーション能力を身につける。	
係長級研修	係長級昇任者	係長級に求められる幅広い視野やリーダーシップの基礎を身につける。	
係長級3年目研修	係長級昇任3年目の職員	係長級に求められる、より効果的なフォローシップ・リーダーシップを身につける。	
主査級研修	主査級昇任者	メンバーの指導・育成の手法及び説明能力を身につける。	
主査級3年目研修	主査級研修受講後3年目の職員	これまでの指導経験を踏まえ、より高い部下育成のスキル・考え方を身につける。	
課長補佐級研修	課長補佐級昇任者	組織目標の達成に向けた業務の管理及び職員の管理などの能力を身につける。	
課長級研修	課長級昇任者	組織目標の達成に向けた組織管理能力及び人材育成能力を身につける。	
現業職	現業職員研修	技能労務職員	県民視点に立って意欲的かつ効率的に仕事を進める手法を身につける。
	現業（技能長・主任技能員）職員研修	技能長・主任技能員昇任者	メンバーとの信頼関係の構築や指導的な役割を果たすために必要な手法を身につける。

・能力開発研修（職位に応じた応用的な能力について選択して履修する研修）

コース名	主な研修名
若手職員の基礎力向上（8研修）	「官民による企画力向上研修」、「プレゼンテーション研修」等
組織の中堅職員の能力向上（15研修）	「民間で学ぶまちづくり研修inやまがた」、「戦略的な情報発信研修」等
組織のリーダー養成（4研修）	「コーチング研修」、「危機発生時のメディア対応研修」等

・特別研修（時宜に応じたテーマを設定し履修する研修）

「管理監督者のためのレジリエンス研修」や「女性のワークライフデザイン研修」等 5研修

## (ロ) 研修の内容と実績 (主なもの)

## a 基本研修

研 修 名	研 修 の 目 的	対 象 者	研 修 内 容	実 績 (受講者数)
新規採用職員研修 (一般職・第1期)	県職員としての基本的心構え・ 基礎的知識を身につける。	一般職(高卒・ 短大卒・大卒程 度)採用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的心構え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服務と倫理</li> </ul> </li> <li>* 基礎的知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事の進め方</li> <li>・ 県の組織と行政</li> <li>・ 文書事務</li> <li>・ 会計事務</li> <li>・ 山形県が誇る観光と県産品の振興</li> <li>・ 総合文化芸術館の魅力紹介</li> <li>・ 山形県におけるDXの推進</li> <li>・ 総合発展計画</li> <li>・ 情報公開・個人情報保護制度</li> <li>・ 広聴</li> <li>・ 健康管理</li> <li>・ 接遇</li> </ul> </li> </ul>	205名
新規採用職員研修 (一般職・第2期)	県の政策を把握することによ り、県政運営の中での自らの職 務についての認識を深める。ま た、県の主力農産物の「さくら んぼ」の生産農家を訪問し、農 作業を体験することにより、 「現場主義」、「県民視点」、 「対話重視」という県職員の基 本姿勢を習得する機会とする。	一般職(高卒・ 短大卒・大卒程 度)採用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基礎的知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報</li> <li>・ 財政状況</li> <li>・ 行財政改革推進プラン</li> <li>・ さくらんぼ栽培の現状と取組み</li> <li>・ 現場研修(さくらんぼ作業等)</li> </ul> </li> </ul>	151名
新規採用職員研修 (一般職・第3期)	採用半年間の実務経験を踏ま え、自らの仕事の進め方や職場 を中心としたコミュニケーション のあり方を考え、基礎的な業 務遂行能力を高める。	一般職(高卒・ 短大卒・大卒程 度)採用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的心構え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公務員倫理</li> <li>・ 先輩職員との座談会</li> </ul> </li> <li>* 基礎的知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事評価制度・仕事と家庭の両立</li> <li>・ 地域データの利活用</li> <li>・ メンタルタフネス</li> </ul> </li> <li>* 基礎的業務遂行能力の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーション演習</li> </ul> </li> </ul>	163名
係長級研修	役付職員としての立場・役割を 理解し、係長級に求められる幅 広い視野や主体的に人や組織を 動かす効果的なリーダーシップ の基礎を身につける。職業人生 の一つの節目を迎えるこの時期 に、これまで形成した能力や価 値観を振り返り、自己効力を高 め、将来に向けた自律的な行動 をデザインする。	係長級昇任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的心構え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公務員倫理</li> </ul> </li> <li>* 係長級職員の立場役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マネジメント</li> </ul> </li> <li>* 業務遂行能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合発展計画</li> <li>・ 危機管理</li> <li>・ ソーシャルメディア</li> </ul> </li> <li>* 将来に向けた行動のデザイン <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアデザイン</li> </ul> </li> </ul>	126名
主査級研修	業務遂行の中核としての立場・ 役割を理解し、業務目標の共有 化やその実現に必要な進捗管 理、メンバーの指導・育成の手 法を学ぶ。自分の主張を明確に し、論拠を組み立てるための論 理的思考を学び、相手に分かり やすく伝える説明能力を身につ ける。	主査級昇任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的心構え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公務員倫理</li> </ul> </li> <li>* 主査級職員の立場役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マネジメント</li> <li>・ メンタルヘルス</li> </ul> </li> <li>* 県民に対して施策の目的内容を伝える 能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明力向上</li> </ul> </li> </ul>	114名
課長補佐級研修	管理者の補佐としての立場・役 割を理解し、組織目標の達成に 向けた業務の管理及び職員の管 理など、組織力を高めるために 必要な能力を身につける。	課長補佐級昇任 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的心構え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公務員倫理</li> </ul> </li> <li>* 管理者の補佐としての立場役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マネジメント</li> </ul> </li> <li>* 県の事業・施策の円滑な執行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会運営</li> <li>・ メディア対応</li> </ul> </li> </ul>	156名
課長級研修	管理者としての立場・役割を理 解するとともに、県民との連 携・協働意識の向上を図る。組 織目標の達成に向けた組織管理 能力及び人材育成能力を身につ ける。	課長級昇任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的心構え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公務員倫理</li> </ul> </li> <li>* 管理者としての役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マネジメント</li> <li>・ ワークライフバランス推進</li> </ul> </li> <li>* 県民との連携・協働意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との連携・協働</li> </ul> </li> </ul>	101名

b 能力開発研修

研修名	研修の目的	研修内容	実績 (受講者数)
官民による企画力向上 研修◆	市町村や民間企業・民間団体の方々と議論を重ねる中で、多様な視点・考え方を学び、互いに刺激しあうことにより、人的ネットワークの形成を図るとともに、行政と民間が協働して課題解決に取り組む意識と能力を身につける。	*基礎講義 ・官民による協働の意義 ・データによる現状分析 *演習 ・地域課題及び解決策の検討・提案	県 7名 市町村 10名 民間 5名 合計 22名
民間で学ぶまちづくり 研修inやまがた	地域の魅力や価値の維持・向上のため、まちづくり事業を行っている民間企業の取組みを通し、前例にとられない発想と柔軟な思考で地域課題を解決する能力や新たな課題にも積極的にチャレンジする精神を養う。	*基礎講義 ・まちづくりに必要な視点、考え方 ・七日町エリアの取組み *フィールドワーク（現地調査） *演習 ・地域資源を活かしたまちづくりプランの作成、発表	15名
コーチング研修	部下職員が自らの気づきにより、目標達成に向けて自主的・自律的に行動できるようにサポート・育成する技法・能力（コーチング）を身につける。	*基礎講義・演習 ・コーチングの定義・理念 ・必要とされる理由 ・他スキルとの比較 ・コーチングのスキル （傾聴、承認、質問）	34名

c 特別研修

研修名	研修の目的	研修内容	実績 (受講者数)
管理監督者のためのレジリエンス研修	環境の変化にも柔軟に対応できる、風通しの良い職場づくりを目指すため、自身のレジリエンス（逆境や困難に直面した際にしなやかに適応し、成長の糧にする力）を養う方法を習得するとともに、部下及び組織（チーム）のレジリエンスを高める方法を学ぶ。	*基礎講義・演習 ・自身のレジリエンスを高める ・部下の感情コントロールのサポート ・チームのレジリエンスを高める	28名
女性のワークライフデザイン研修	女性職員が将来にわたって職場・家庭・地域で自分らしく生き生きと活躍していくため、自己の強みや価値観を再確認し、それらを活かしながら組織力の向上につなげるとともに、さらなる自己実現を目指す意識を高める。	*基礎講義・演習 ・女性の労働環境の変化 ・仕事、生き方を含めたキャリア ・女性リーダーとしてのロールモデル	25名

(注) ◆印は民間企業等社員及び市町村職員と合同

ロ 警察本部

研修の内容と実績（主なもの）

研 修 名	研 修 の 目 的	対 象 者	研 修 内 容	実 績 (受講者数)
採用時教養 (警察官)	警察官としての職責を自覚させ、使命感を培い、良識と豊かな人間性を醸成させるとともに、地域警察官に必要な基礎的知識、技能の確実な修得及び体力・気力の錬成を図り、もって適正に職務を遂行し得る警察官を育成する。	新たに採用された 巡査	* 初任教養 職務倫理、法学、基本実務、体育・術科等 * 職場実習 地域勤務の基本と基本的捜査実務能力を修得 * 初任補修教養 初任教養を総合的に発展進化した教授内容 * 実戦実習 独力による勤務を行い本格的な実務能力を修得	48名
採用時教養 (一般職員)	警察職員としての職責を自覚させ、使命感を培い、良識と豊かな人間性を醸成させるとともに、その職務の遂行に必要な基礎的な知識、技能を修得させる。	新たに採用された 職員	職務倫理 法学 基本実務 専門実務 体育・術科 等	14名
昇任時教養	上位階級者としての意識付けを行うとともに、それぞれの職責を果たす上で必要不可欠な知識、技能を修得させる。	警部補又は巡査部長に昇任し、又は昇任が予定されている者	職務倫理 法学 基本実務 管理 専門実務 体育・術科 等	3名
部門別任用時教養	専務員としての職責を自覚させ、その職務の遂行に必要な基礎的知識、技能を修得させる。	生活安全、刑事、交通及び警備の各部門に新たに任用する警察官	職務倫理 基本実務 専門実務 体育・術科 等	50名
各種専科教養	特定の分野に関する専門的な知識、技能を修得させる。	特定の各分野を担当する警察官又は一般職員	職務倫理 専門実務	306名

(注) その他、警察大学校、管区警察学校等においても昇任時教養研修をはじめ、より専門的な専科教養研修、語学教養等職務執行に必要な各種教養研修が行われています。

ハ 教育委員会  
(イ) 研修体系  
全体図

領域		山形県教員「指標」におけるキャリアステージ									
		始発期 初任～3年目	成長期 4～10年目	充実期 11～20年目	組織運営期 21年目～退職						
生徒指導力	学習指導力	特別支援教育力	ICT活用力・情報モラル	総合的な人間力	教育公務員としての自覚	チームマネジメント能力	危機管理対応能力	教員としての使命感や教育観を育てるとともに、基礎的な能力及び実践的指導力を身につける。	教員としての専門的な知識・技能の習熟を図り、実践的指導力を高める。	研修課題の整理・解決を図り、積極的な教育実践を通して教員としての専門的な力量を伸ばすとともに若手教員を指導する力を身につける。	広い視野に立ち、学校運営の推進者としての自覚を持つとともに、管理・運営・指導に関する力量を高める。豊かな教職経験を踏まえ、実践的な指導力や課題解決力を一層高め、他の教員の力量形成を支援・指導する。
基本研修								初任者研修・新採教員研修 教職2年次フォローアップ研修 教職3年次フォローアップ研修 教職5年経験者研修 中堅教諭等資質向上研修 ステージアップ研修 教職中長期経験者研修 新採校長研修 新採教頭研修	・ 服務規律の理解と総合的な人間力の向上を基盤とした基本研修 特別支援教育研修 ・ 特支学級新任担任 ・ 通級指導教室新任担当 ・ 特支学校新任教諭		
								教科・領域に関する研修 ・ 探究型学習の研究成果を基にした、学習の在り方や授業づくりについて学ぶ研修 ・ 児童生徒の学力向上を目指して、学習指導要領を踏まえた実践的指導力を高める研修			
専門研修								教育課題に関する研修 ・ 学校教育の基盤となる事項、社会の変化に対応した教育活動の実践について学び、今日的な教育課題の解決を図る研修			
								マネジメントに関する研修 ・ 学級経営やチームリーダーとしての組織運営または校務運営のために必要なマネジメント能力の向上を図る研修			
校内研修								授業研究、職員研修など			
研 修 期								・ 中央研修 ・ 教職大学院研修 ・ 長期研修（山形大学、県教育センター、国特総研等における研修）			

注1 ○印は、重点とする領域である。

注2 養護教諭・栄養教諭については、領域内の「生徒指導力」、「学習指導力」を、各職種の専門的な指導力に読み替えるものとする。

注3 職種によっては開講しない講座もある。

注4 校内研修に関し、OJTのレポートのための指導主事の派遣が行われている。

## (ロ) 研修の内容と実績 (主なもの)

研 修 名	研 修 の 目 的	対 象 者	研 修 内 容	実 績 (受講者数)
初任者研修 (小・中・義、特、 高校)	実践的指導力と使命感を養うとともに、総合的な人間力を高める。	新採教員	*学び続ける教師 *総合的な人間力、使命感と教育理念、教育課題解決力、マネジメント能力を養う研修 *教科指導、領域指導 等	254名
フォローアップ研修 (2年次)	学習指導、学級経営、生徒指導等における知識と技能の充実を図るとともに、教員としての資質と実践的指導力を高める。	教職2年次の教員	*服務研修 *教育相談の基礎 *発達障がいに関わる理解と支援 *選択研修 等	291名
フォローアップ研修 (3年次)		教職3年次の教員	*服務研修 *選択研修 等	263名
教職5年経験者研修 (小・中・義、特、 高校)	教員として必要な使命感と教育観の深化を図るとともに専門的な知識と技能を高め、教員としての資質と実践的指導力の向上を図る。	教諭としての在職期間が5年を経過した教員	*教育公務員の服務 *いじめ・不登校等の未然防止について *授業研究(探究型学習等) 等	241名
中堅教諭等資質向上研修 (小・中・義、特、 高校)	個々の教諭等の能力や適性に応じ、中堅教諭としての資質の向上を図る。	教諭としての在職期間が10年を経過した教員	*中堅教諭に求められる指導力 *教育公務員の服務 *特別支援教育 *メンタルヘルス *授業研究(探究型学習等) 等	156名
新規採用校長研修・ 学校経営研修	新規採用校長としての自覚とリーダーシップの涵養を図り、普遍的な教育課題とともに現代的な課題にも対応できる学校経営について研修を深める。	新採校長	*県教育長講話 *特別支援教育 *教育法規 *メンタルヘルス *学校経営基礎研修 *組織マネジメント 等	70名
新規採用教頭研修・ 教員倫理研修	国及び本県の教育施策や学校経営について理解を深めるとともに、解決が急務となっている教育課題並びに倫理観を高める教職員管理の在り方について研修を行い、教頭としての自覚と資質の向上を図る。	新採教頭	*県教育次長講話 *特別支援教育 *教育法規及び教育倫理 *事務の適正な執行 *メンタルヘルス *組織マネジメント 等	88名
学校運営基礎講座	最新のカリキュラム・マネジメントと学校の校務運営に必要な法的根拠を学び、校務運営に携わる教員としての倫理観を身に付けさせるとともに、マネジメント能力の向上を図る。	小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校の校務を中心となって推進する立場の教員	*校務運営上の法的根拠 *カリキュラム・マネジメントについて 等	17名
教職大学院研修	現職教員としての資質の向上と指導力の充実を図る。	本県教育を実践的にリードできる教員	*学習開発コース *学校力開発コース	20名
長期研修	現職教員としての資質の向上と指導力の充実を図る。	勤務年数が6年以上の教育職員	*県教育課題を踏まえた個々のテーマに基づく研究	6名
中央研修	各地域の中核となる校長・教頭等の育成を図る。	校長・教頭・指導主事・中堅教員	*教育課題の明確化と解決のための知識・技能の習得に関する講義及び演習	29名